

やはたの丘

学校だより

文責：山本 康子

1学期を振り返り飛躍の2学期へ

始業式・入学式から3ヶ月がたちました。28年度の1学期が終わろうとしています。保護者の皆様のご協力とご支援をいただいたおかげで、様々な学習活動や学校行事を無事に実施することができました。心から感謝申し上げます。



始業式・入学式に、児童生徒の皆さんに頑張ってほしいことを3つお話ししました。

終業式でもう一度、お伝えしました。

- ① 毎日元気で学校に来てほしい。
早寝・早起き・朝ごはん、規則正しい生活をするのが大切です。
- ② あいさつをしてほしい。
コミュニケーションの第一歩。笑顔やできる動作でもいいです。
- ③ 自分でできることをふやし、生活に活かせる力をつけてほしい。

3つのことについて、もう一度振り返り、2学期のめあてをたててほしいなと思います。次に、保護者の皆様をお願いします。

終業式に、担任の先生が通知表をお渡しします。学習や生活の状況、健康状態から、ぜひお子様の成長を読み取っていただき、ご家族でお子様を認め、励ましていただきたいと思います。ご家族の皆様から認めていただくことで、自分のよさや頑張りに気づき、自己評価が高まります。またぜひ、2学期にさらに頑張ってほしいことも確認し、ご家族で応援していることを、お子様に伝えていただきたいと思います。1学期の成長を2学期につなぎ、さらなる成長を願っています。

夏休みが始まります。

さて、いよいよ夏休みが始まります。7月21日から26日までは、夏の教室があり、8月9日は出校日です。またPTA活動としてプール開放が7月27日から8月5日まで行われます。規則正しい生活をしましょう。また家の仕事を手伝ったり地域活動に参加したりすることはとても大切なことです。どうか健康に注意して、意義ある夏休みをお送りください。また何かありましたら学校の方へ、ご連絡お願いいたします。

支援部の取組を紹介します。

1学期の終わりに、本校の4つ目の部である支援部の取組をご紹介します。支援部は、特別支援教育コーディネーターとして5名で活動しています。地域支援と校内支援の仕事を行っています。

＜地域支援＞ 特別支援学校が担う地域のセンター校としての役割で、「センター的機能」と呼ばれています。要請に応じて地域の幼稚園保育所（園）、小学校、中学校、高校などへ出かけて行きます。通常の学級の中にも特別な配慮を必要としている子どもたちに、どのような指導を行なったらよいか園や学校を通して相談に応じています。

また、どの子どもたちにとっても大きな節目となる入学時には、就学時移行支援をしています。特に幼稚園保育所（園）から小学校への入学時は、よりていねいな支援を心がけて相談に応じています。そのほかに、地域の先生方を対象にして特別支援教育への関心と指導・支援の力を高めてもらうため研修会を開いています。昨年度は全体で計176件の要請を受けて地域支援を行ないました。



研修会の様子

＜校内支援＞ 授業への参加、学校生活全般を通じた児童生徒への支援、本校職員の専門性向上のための研修会などを行なっています。年度初めには新入生の実態把握を行なって担任の先生方へ伝えたり、チャレンジ・ステップ・自立活動の授業に参加して担任と一緒に指導を行なったりしています。今年度は、小学部1年生の給食指導にも入っています。

また校内サポート会議を定例で実施し、適切な支援について協議をしたり、関係機関との連携が必要な場合は、外部の機関と連絡をとりながら、担任や他の職員と協力して問題解決に向けた取組をしたりしています。

そのほか、専門医や専門家の方々から本校職員が指導を受ける研修会があります。よりよい学びの場になるように、学部と専門家等をつなぐ窓口としての役割も担っています。

支援部は、地域や本校の子どもたちが幸せに学校生活を送れるように、これからも頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。